



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社 九州タバチ (C)

5

## 自主研活動による改善事例

以下は、2009年度に実際に行われた自主研活動による2つの改善事例である。1つは、埋設製品課第2グループNC加工チームが取り組んだ「ムダを排除した誰でもできるシングル段取へのトライ」である。もう1つの事例は、アレス検査チームが取り組んだ「後工程はお客様一本社製造部の信頼を得る」である。

10

15

20

25

本ケースは、標記企業の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科准教授の坂爪 裕が作成した。本ケースはクラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 坂爪 裕 (2010年4月作成)